



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2022/4/9 Rd-1 FUJI Speedway

天候：晴れ 気温：17°C 出走台数：21台

2022シーズン全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7大会10戦と、昨年より3戦増加して開催される。その開幕戦第1大会の富士スピードウェイでは、土曜日にRd1、日曜日にRd2の2レース制。シーズン開幕でいきなりの2連戦となるため、ドライバーもチームも、好成績で今後の良い流れを作りたいところ。

予選方式も一新され、ノックアウト予選はQ1とQ2の2回のみ。

これまで以上にスピーディーな展開で、予選の緊迫感は否応なく高まるだろう。

A組 2021年度ルーキーオブザイヤー獲得の大津選手は、フロントタイヤの温まりが遅いと考え、開始すぐにフロントタイヤのみ新品を履いてコースイン。すぐにピットインし、リアタイヤを新品に換えてアタックへ。第1セクター、第2セクターと好調にタイムを刻むが、第3セクターでタイムを伸ばせず、5番手で第2予選へ。

B組 牧野選手は、開始すぐにユーズドタイヤを履いてコースイン。車両の感触を掴み、予選残り7分のタイミングでニュータイヤを履いてコースイン。慎重にタイヤを温め、3周目にアタックを行う。昨日から的好調を維持し、第2セクタートップタイムを刻むが、第3セクターでバランスが悪く失速。6番手で第2予選へ進む。

12台で争われる第2予選。牧野選手は、セットアップに若干の修正を加え、3周のウォームアップの後4周目にアタックラップへ、第2セクタートップのタイムを刻むが、第3セクターのバランスは好転せず7位となった。

大津選手も、セットアップを修正。コースオープンと同時にコースインしアタックへ。路面の変化にセットアップを合わせきれず10位で予選を終えた。

5：牧野任祐選手 予選7位（第1予選B組6位 第2予選7位）HONDA勢4位

昨日のフリー走行が非常に良かったのですが、そこからの上げ幅が小さく、特に第3セクターのタイムは想定に届きませんでした。予選結果ではトップとのタイム差が結構ありますが、先ずは今日の決勝に気持ちを切り替えて、チームとしっかり戦略を練って臨みます。

6：大津弘樹選手 予選10位（第1予選A組5位 第2予選10位）HONDA勢5位

牧野選手同様、昨日テストの調子はとても良く、自信を持って予選に臨みました。

第1予選の感触から、タイムアップすべく第2予選に向けてセットアップを変えましたが、コンディションの変化に合わせきることが出来ませんでした。

決勝に向けては、ドライビングを含めセットアップを見直して、上位フィニッシュで終えたいと思います。